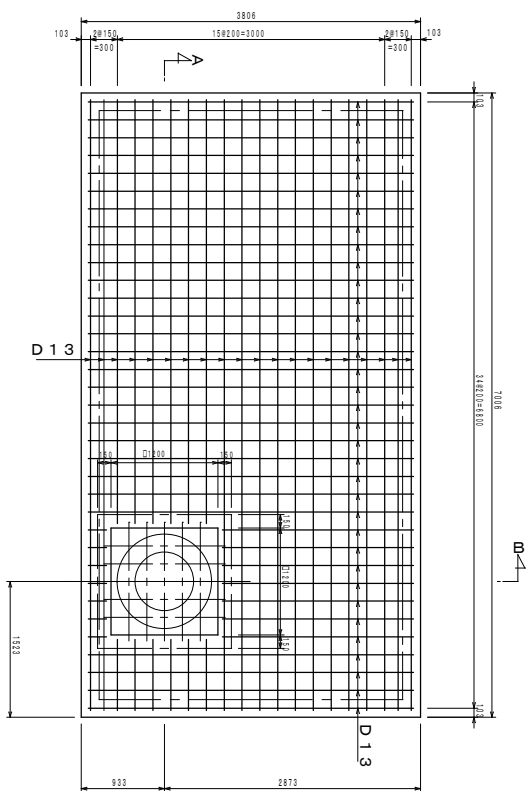


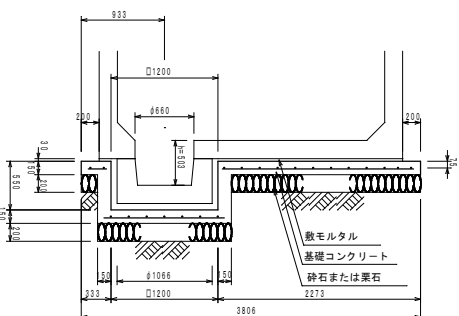
二次製品防火水槽 基礎コンクリート構造図  
1ピット

材 質 強 度		単 位 N/mm <sup>2</sup>	
コンクリート (標準行)	設計基準強度	f <sub>ck</sub> =	24
鉄	許容応力度	f <sub>st</sub> =	9
鉄	許容応力度	f <sub>sa</sub> =	180

平 面 図

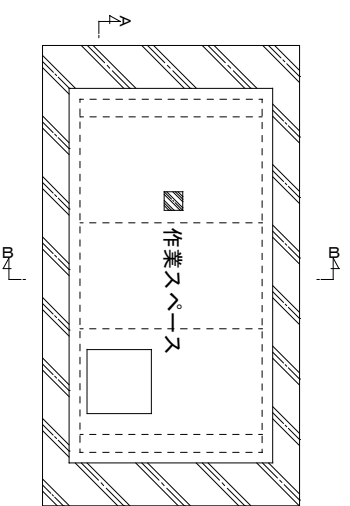


B-B 断 面 図

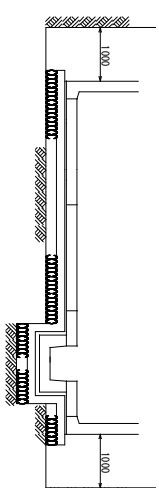


B-B 断 面 図  
土留め工による場合

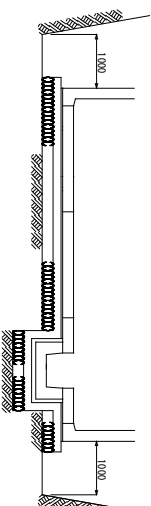
B-B 断 面 図  
素掘りによる場合



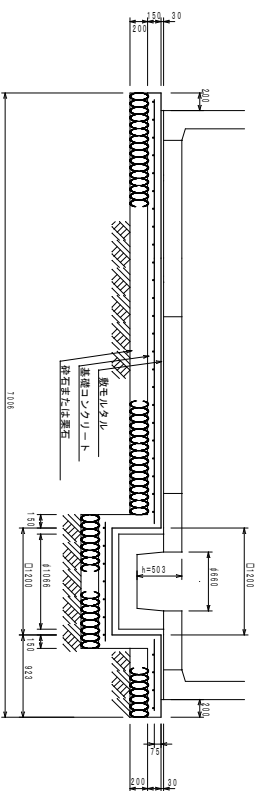
A-A 断 面 図  
土留め工による場合



A-A 断 面 図  
素掘りによる場合



A-A 断 面 図



基礎コンクリートについて  
貯水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行った地盤の強固な場合は均しコンクリート（無筋コンクリート）を基本とし、地盤が比較的柔らかい（中位のもの）場合、砂質土壌でN値が5以上10未満、または粘土質土壌でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとすることで対応できる。また、基礎地盤のN値が5未満の場合は検討を要する。無筋コンクリートとする場合の基礎の形状寸法は、この図面に基づくものとする。

（参考）基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について

基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
砂質土壌	5以上10未満	鉄筋コンクリート 検討が必要
粘土質土壌	5以上8未満	均しコンクリート（無筋コンクリート） 鉄筋コンクリート 検討が必要
	5未満	鉄筋コンクリート 検討が必要

\* 鉄筋は、SD29.5またはSD34.5を使用する。

※本図面は参考図になります。

MEMO

東洋コンクリート株式会社  
沖縄県中頭郡西原町字兼久218番地  
TEL 098-945-2762 FAX 098-945-5188

工 事 名	図 名
二次製品防火水槽	基礎コンクリート構造図【1ピット】